

令和3年度

えんネット

報告書



1) 教育

(1) 男女共同参画講義（キャリア教育）

臨床実習前の医学科4年生対象にした男女共同参画講義（キャリア教育）を島根県医師会と共に、主催している。

日 時：令和3年12月16日（木）

対 象：島根大学医学部4年生ならびに島根県医師会会員

主 催：島根大学医学部地域医療支援学講座 島根県医師会

共 催：日本医師会 島根大学男女共同参画推進室 島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室

<特別講義>

広島大学医学部附属教育センター 教授 蓮沼 直子先生

<キャリアモデル講演>

島根大学医学部 消化器内科 助教 沖本 英子 先生

器官病理学 准教授 荒木 亜寿香 先生

高度脳卒中センター 副センター長 安部 哲史 先生

<島根大学男女共同参画の取り組み>

島根大学学長特別補佐（男女共同参画担当）河野 美江 先生

<島根県「えんネット」の取り組み>

地域医療支援学講座 助教 堀田 優希江

<医師会講演>

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーションスクール 教授 吉田 穂波 先生

「新しい医師の生き方5.0」

WHO感染症危機管理シニアアドバイザー 進藤 奈邦子 先生

「世界のコロナマネジメント」



男女共同参画フォーラム特別講演

特別講演① 14:05～15:05
神奈川県立保健福祉大学
ヘルスイノベーションスクール
教授 吉田 穂波 先生
テーマ：
新しい医師の生き方5.0

特別講演② 15:05～16:05
WHO感染症危機管理
シニアアドバイザー
進藤 奈邦子 先生
テーマ：
世界のコロナマネジメント

【日時】2021年12月16日(木) 14:00～16:10
【場所】島根大学医学部臨床大講堂、Web配信
【対象】医学部4年生、附属病院関係者
1年次の受講生は、本日の開講スタッフ及び卒業生の方は申し込み不要です。 ※要申し込み
【各所属へ】お申し込み、ご登録ください
career@med.shimane-u.ac.jp までご連絡ください
後日、参加用URLをお送りします

【お問い合わせ】島根大学医学部地域医療支援学講座、島根県医師会
【主催】日本医師会、島根県医師会、島根県医師会、島根県医師会
【協賛】島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室
【申込】島根県医師会事務局 0922-26-2226、島根県医師会 1982-21-8624

(2) ワークライフバランス講義

研究室配属の講義として「医師として働くこと」と題して堀田が担当した。統計と実体験をもとに話をを行い、復職と支援について話を行った。

(3) 医師生活密着型実習

医師密着型実習とは、島根でがんばる医師に同行して実習を行い、自分の将来像を探することを目的にした実習である。

(4) セミナーの開催

〈ワークライフバランスセミナー〉

テーマ：男性育休が働き方も組織も変える

日 時：令和3年9月16日(月)18:00-19:30

場 所：島根大学医学部みらい棟4階 ギャラクシー

Zoomを使用したハイブリット形式

学内講師：島根大学医学部眼科学講座 助教 杉原一暢 先生

島根大学医学部眼科学講座 医科医員 河野通大 先生

特別講師：株式会社 ファミリーエ代表取締役

NPO 法人ファザーリングジャパン理事 徳倉 康之 先生

対 象：学生、医療関係者

参加者：21名

主 催：島根大学医学部地域医療支援学講座

共 催：島根大学ダイバーシティ推進室

医学部附属病院ワークライフバランス支援室



概 要：杉原先生は現在育休中で、赤ちゃんを抱かれてお話された。育休を取ってみて「得手不得手はあるけど、男だって育児は問題なく可能、いつか、第2子生まれたらもう一度育休取ります」と早くも宣言された。

河野先生は2人目出生時に育休を取得され、育児に対する当事者意識が生まれ、また長男

との絆が深まったことをお話された。

特別講演として徳倉先生にお話し頂いた。働く人すべてが働きやすく、制度を変えるのではなく組織風土を変える心掛けが大切だと話された。また、少しの工夫で人が辞めない組織を作ることができることもご教授いただいた。

これからの時代をとらえた、まさに組織風土から社会を変えていけることを勇気づけられるお話であった。

2) 学生との交流

女性医師の働き方、女性医師同士の横のつながりを持つために開催した。

女性医師らと学生とで議論が深まった。

第1回えんネット交流会 (Web 開催)

【実施日】令和3年7月12日 17:30~19:00

【場 所】島根大学医学部みらい棟2階 共通カンファレンス I

Zoomによるハイブリット開催

【参加者】敬称略 順不同 荒木 亜寿香 (病理部) 木村かおり (法医学講座) 真子絢子 (小児外科) 中尾美香 (呼吸器・化学療法内科、先進医療管理センター) 守田美和 (内分泌内科) 鞆嶋有紀 (小児科) 猪木迫綾香 (整形外科) 石川雅子 (産婦人科) 持地美帆子 (眼科) 堀田優希江 (地域医療支援学) 佐野千晶 (地域医療支援学)、学生3名
概 要:今年度1回目の交流会を対面とオンラインのハイブリットで行った。自己紹介を行った後に各々の現在の悩みなどを共有した。学生からは勉強と実習などの両立やロールモデルについて相談があり、先輩医師からは趣味の時間を持ち気分転換しながらやることの大切さやローモデルの存在が成長を促すこと等の助言があった。

参加医師の世代も幅広く、産前産後休暇や育児休暇の取得について、また未就学児から思春期の子育ての悩みまで相談があり、子供の成長に併せて悩みも変わっていくことを共有した。また、男性の育児休暇の取り方や働き方について情報交換を行った。

参加された女性医師や学生からは、色々な世代の話が聞けて楽しかったと感想を頂いた。

第2回えんネット交流会

【実施日】令和3年10月12日(月) 17:30~19:00

【場 所】島根大学医学部みらい棟2階共通カンファレンス I

【参加者】敬称略 順不同 小川典子 (解剖発生学) 荒木 亜寿香 (病理部) 中尾美香 (呼吸器・化学療法内科、先進医療管理センター) 鞆嶋有紀 (小児科) 持地美帆子 (眼科) 筒井愛佳 (眼科) 宇賀田典美 (血液・腫瘍内科) 堀田優希江 (地域医療支援学) 佐野千晶 (地域医療支援学)、学生3名、学生4名

概要：今年度第2回の交流会を久しぶりの対面で開催した。1～4年生、男女2名ずつの学生参加もあった。これまでの経験などを含めた自己紹介の後、男子学生からは「女性医師を含む医師たちは結婚や出産等のライフイベントにどのような生活スタイルで対応しているのか」という質問があった。個々人の様々な働き方の回答に感嘆の声や笑いが聞かれた。今や、男子学生でも学生時代からライフイベントとキャリアを考えるのかと、驚きと一方で主催者側としては喜びも感じた。

学生からは「このような機会に沢山のお話を聞くことができよかった、また参加したい」との嬉しい感想が聞けた。コロナ禍ではあるが、状況をみながら対面での開催を継続していきたい。



3) 就労支援

(1) 相談窓口

平成26年8月から働き方に不安を抱える方の窓口（えんネット）を設置し、出産・育児後の女性医師等が安心して職場復帰や、現在の働き方に悩みを抱える医師のために個々に応じた復職への相談も受け付けている。復職支援プログラム作成や復職に向けたシミュレーション教育等を支援して、専門に応じた対応が必要な場合は、支援担当員として協力いただく専門科の先生に相談を受けることも可能としている。

相談件数 25件

・相談窓口事業の相談内容

- ① 県内に赴任した際の研修機会の確保
- ② 離職後の段階的なスキルアップについて
- ③ 異動先の研修施設 院内保育所等 福利厚生
の状況
- ④ 身体的不調, 精神的不調
- ⑤ ライフイベントに関連した働き方
- ⑥ ライフイベントと奨学金返還免除期間



(2) 復職サポート

職場紹介、雇用についてサポートを行っている。勤務が開始された後は健康面、精神面での定期的なフォローを行っている。

職場紹介実績 1件

4) 研究

学生のキャリア選択についての研究

研究代表者：佐野千晶

医学生のキャリア認識が、どういった生物学的因子、社会的因子、経済的因子、環境因子、教育機会因子と関連しているのかについてキャリア・アンカー理論を応用し、研究している。また、他学部との共同研究を開始し、医学生のキャリア選択について検討している。

学会発表

第53回日本医学教育学会大会にて堀田が「医学生の就業観とワークライフバランスについての認識アンケート調査」について報告した。

5) 広報

(1) えんネットマガジンの発行

特集：島根東部で患者の生活を支える医師たち
松江生協病院 医師4名にインタビュー取材を行った。

子育て中の医師からキャリア形成についてのお話を聞くことができた。



(2) えんネットホームページ

キャリア支援・両立支援や学生支援の情報、学生教育について適宜更新している

<https://www.en-net.jp>

(3) えんネットグッズの作成

えんネットの活動周知のためにグッズを作成し、必要な方にお配りしています。



わたしたち「えんネット」は、
育児など、様々な理由でキャリアを中断せざるをえなかった方
働き方に悩みを抱えている方の相談窓口です。
「安心、継続して心豊かに働ける毎日をおくってほしい」
この思いを大切に、
仕事と家庭を両立している担当の女性医師が
コミュニケーションを軸にしたサポートで、悩みを解消しています。

仕事のこと、子育てのこと、キャリアのこと、
日常生活の悩みでも大丈夫です。
お話ししながら、ちょっと一息、つきますか？

えんネット
しほね健康推進センター



本年度は、ポスター、フライヤー、カレンダー、マスクケースを作成いたしました。

5) 託児付セミナー支援

- 島根県糖尿病療養指導士認定研修会（松江赤十字病院）
令和3年5月15日（土）12:30～19:00
令和3年5月16日（日）8:00～13:00
- 島根県糖尿病療養指導士認定試験（松江赤十字病院）
令和3年7月4日（日）9:00～14:00
- 島根地域医療の会（ニューウエルシティいずも）
令和3年7月22日（木）15:00～18:30
- 中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナー（浜田石中央文化ホール）
令和3年11月7日（日）
- 島根県糖尿病療養指導士認定研修会（益田赤十字病院）
令和4年3月5日（土）6日（日）

